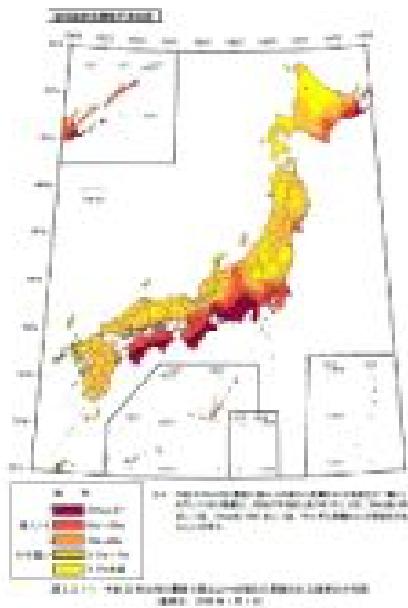


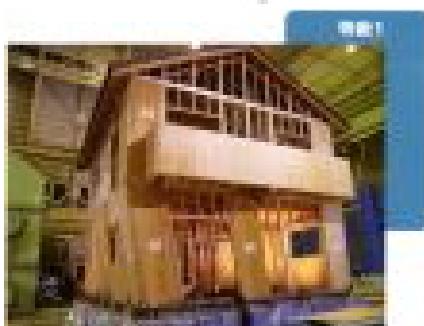


1995年に発生した「阪神・淡路大震災」での地震による直接的な死者数だけでも、5,500人にのぼり、その9割は建物倒壊によるものです。



私達の住んでいる静岡県では、今後30年以内に強い地震が発生する確率が83%程度で、その規模はマグニチュード8.1前後と予想されます。この地震エネルギーは阪神大震災の10倍以上の大きさです。

地震から生命を守るためにには、建物の耐震性が必要です。



等級1	数百年に一度発生する地震の地震力に対して倒壊・崩壊せず、数十年に一度発生する地震の地震力に対して損傷しない程度
等級2	等級1の1.25倍の地震力に対抗できる。
等級3	等級1の1.5倍の地震力に対抗できる。

上の写真は、阪神・淡路大震災と同じ地震動を加えて行った実物実験の様子です。

等級1（建築基準法ギリギリ）の建物は大きく歪んでいますが（実験用に倒壊防止のワイヤーが張られていたが、このワイヤーがなければ間違いなく倒壊していた）、等級3の建物には被害が見受けられない。2つの建物はいずれも同じ間取りで壁量だけが違う。

建築基準法の新耐震基準（耐震等級1）をクリアしていても安全ではない！！

弊社の「重量木骨の家」は、全棟耐震等級3